



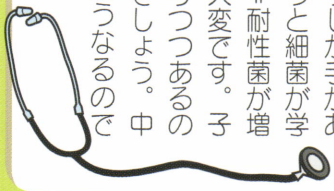

Dr. 真崎の
患話休題
かんわきゅうだい
2



「中耳炎：なんで鼓膜を切らなきゃならないの？」

急性中耳炎は3歳以下の子供に多いのですが、最近非常に治りにくくなっています。何故でしょう。ウイルスや細菌は常に口の中に進入してきます。けれども多くの場合は免疫の働きで防御されます。この免疫力、とくに細菌に対する抵抗力は3歳位から役に立つようになります。つまり3歳以下の子供は自力で細菌を取り除く力がありません。ですから少し強い病原菌が口からはいると、のどに住み着き、やがて鼻や耳に広がり鼻炎や中耳炎を引き起こします。これを治すのには

先ずは病原菌を排出させて減量する必要があります。まず、耳鼻科医が鼻汁を奥から吸い出したり、鼓膜を切ったりするのはそのためです。さらに病原菌をたたくには抗生物質を使うしか手がありません。ところが抗生物質を使うと細菌が学習して抗生物質に抵抗力を持つ菌＝耐性菌が増えてくるようになります。さあ大変です。子供の中耳炎を治す手だてが無くなりつつあるのです。なぜこんなことになったのでしょうか。中耳炎を繰り返す子供の耳は将来どうなるのでしょうか……（続く）。



真崎耳鼻咽喉科医院

院長 真崎 雅和



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 2:30~5:30	○	○	○	休診	○	△ 2:30~4:00	休診



TEL.018-845-0234

FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3